



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 丸大食品株式会社
コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森本 芳史

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	175,908	2.7	3,218		3,526		2,435	950.7
2023年3月期第3四半期	171,284	1.1	78		214	75.9	231	67.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,151百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 329百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	97.63	
2023年3月期第3四半期	9.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	139,680	72,383	51.3	2,883.14
2023年3月期	126,261	69,014	54.1	2,731.03

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 71,660百万円 2023年3月期 68,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				20.00	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	2.3	2,200		2,600		1,200		48.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	26,505,581 株	2023年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,650,567 株	2023年3月期	1,485,025 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	24,945,300 株	2023年3月期3Q	25,117,294 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、人流やインバウンド需要の回復に加え、雇用・所得環境に改善の兆しが見られるなど、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなるほか、物価上昇、地政学リスクの高まり、金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費やインバウンド需要に回復の動きが見られるものの、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇を背景とした物価上昇等の先行きへの不安から消費者の節約志向が一段と高まるなど、厳しい環境が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は物価上昇に伴う販売価格の上昇により需要が減少したことなどから、前年を下回って推移しておりましたが、年末年始需要などから足もとでは前年を上回りました。米国産牛肉は生産量の減少により前年を大きく上回って推移しております。また、国産豚肉は出荷頭数の回復などの影響から前年を下回って推移している一方で、輸入豚肉は為替相場の影響などから前年を上回って推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.7%増の1,759億8百万円、営業利益は32億18百万円（前年同期は営業損失78百万円）、経常利益は35億26百万円（前年同期は経常利益2億14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比950.7%増の24億35百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	113,585	117,391	3,806 (3.4%)	△482	2,423	2,905 (-)
食肉事業	57,599	58,420	820 (1.4%)	363	755	392 (108.0%)
その他	100	96	△3 (△3.5%)	40	39	△0 (△1.5%)
合計	171,284	175,908	4,624 (2.7%)	△78	3,218	3,297 (-)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	50,305	50,842	536 (1.1%)
調理加工食品	63,279	66,549	3,269 (5.2%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、主力商品の「燻製屋」シリーズを対象とした、「燻製屋 4つの感動プレゼントキャンペーン」などの販促活動を実施し、拡販に努めました。歳暮市場の縮小などから、歳暮ギフトの売上高は伸び悩んだものの、環境に配慮したパッケージ資材を使用した「たっぷり使える」シリーズで新商品の「たっぷり使えるウインナー」を発売するなど商品拡充を図った結果、価格改定による効果もあり、当部門の売上高は前年同期比1.1%の増収となりました。

調理加工食品部門では、コンビニエンスストア向け商品やデザート類の売上高が堅調に推移しました。また、主力の「ピストロ倶楽部濃厚カレー」シリーズを中心にレトルトカレーの拡販に努めたほか、人気商品「スンドゥブ」シリーズにおいて「瞬ドゥブキャンペーン」を実施するなど、売上拡大に努めた結果、当部門の売上高は前年同期比5.2%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比3.4%増の1,173億91百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格の上昇などのコスト増加要因があるものの、価格改定による効果や合理化などのコスト削減に努めた結果、24億23百万円（前年同期は4億82百万円の損失）となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、外食産業向け販売が堅調に推移しましたが、消費者の節約志向の高まりから量販店向け販売が伸び悩んだことから、売上高は前年を下回りました。豚肉につきましては、外食産業向け販売が順調に推移するとともに牛肉からの需要シフトにより量販店向け販売も伸長したことから、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比1.4%増の584億20百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比108.0%増の7億55百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比3.5%減の96百万円、セグメント利益は前年同期比1.5%減の39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	126,261	139,680	13,419
負債	57,246	67,296	10,049
純資産	69,014	72,383	3,369
自己資本比率	54.1%	51.3%	△2.8%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が97億34百万円、現金及び預金が26億12百万円、投資有価証券が24億7百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ134億19百万円増加し、1,396億80百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が55億5百万円、有利子負債が33億85百万円、繰延税金負債が5億19百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ100億49百万円増加し、672億96百万円となりました。

純資産は、剰余金5億円の配当や自己株式2億77百万円の取得がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益24億35百万円の計上やその他有価証券評価差額金16億57百万円の増加などから、前連結会計年度末に比べ33億69百万円増加し、723億83百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.8%低下し、51.3%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,328	4,658	5,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,006	△4,261	△1,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,411	2,215	△2,196
現金及び現金同等物の増減額	76	2,612	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,066	9,528	1,461

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、46億58百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、42億61百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得による支出がありましたが、有利子負債の増加などから、22億15百万円増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から26億12百万円増加し、95億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年1月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,916	9,528
受取手形及び売掛金	23,897	33,631
商品及び製品	12,370	12,279
仕掛品	509	445
原材料及び貯蔵品	6,351	7,820
その他	1,385	1,071
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	51,416	64,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,370	63,716
減価償却累計額	△46,038	△46,875
建物及び構築物 (純額)	17,332	16,840
機械装置及び運搬具	74,993	76,168
減価償却累計額	△59,653	△62,007
機械装置及び運搬具 (純額)	15,340	14,161
工具、器具及び備品	4,720	4,463
減価償却累計額	△3,432	△3,202
工具、器具及び備品 (純額)	1,288	1,260
土地	18,346	18,135
リース資産	9,122	9,191
減価償却累計額	△4,596	△5,000
リース資産 (純額)	4,526	4,190
建設仮勘定	486	365
有形固定資産合計	57,319	54,954
無形固定資産		
投資その他の資産	1,573	1,099
投資有価証券	11,438	13,846
関係会社株式	262	325
長期貸付金	19	16
退職給付に係る資産	1,861	2,105
繰延税金資産	317	283
その他	2,172	2,420
貸倒引当金	△120	△128
投資その他の資産合計	15,951	18,868
固定資産合計	74,844	74,922
資産合計	126,261	139,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,754	26,259
短期借入金	9,858	15,240
1年内返済予定の長期借入金	2,917	2,580
リース債務	1,024	962
未払金	6,714	6,385
未払法人税等	215	720
未払消費税等	299	427
賞与引当金	781	280
構造改革引当金	178	213
その他	1,320	2,021
流動負債合計	44,063	55,091
固定負債		
長期借入金	5,255	3,946
リース債務	3,735	3,446
繰延税金負債	1,961	2,480
退職給付に係る負債	1,467	1,495
構造改革引当金	144	210
その他	620	625
固定負債合計	13,183	12,204
負債合計	57,246	67,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	38,388	40,323
自己株式	△3,342	△3,619
株主資本合計	63,848	65,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,952	6,610
繰延ヘッジ損益	0	△39
為替換算調整勘定	56	76
退職給付に係る調整累計額	△526	△493
その他の包括利益累計額合計	4,483	6,154
非支配株主持分	682	723
純資産合計	69,014	72,383
負債純資産合計	126,261	139,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	171,284	175,908
売上原価	146,822	148,508
売上総利益	24,462	27,400
販売費及び一般管理費	24,541	24,182
営業利益又は営業損失(△)	△78	3,218
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	179	176
不動産賃貸料	111	112
その他	202	254
営業外収益合計	507	553
営業外費用		
支払利息	168	174
その他	44	71
営業外費用合計	213	245
経常利益	214	3,526
特別利益		
固定資産処分益	117	10
投資有価証券売却益	643	—
特別利益合計	760	10
特別損失		
固定資産処分損	141	61
減損損失	116	3
構造改革費用	—	443
特別損失合計	258	508
税金等調整前四半期純利益	717	3,027
法人税、住民税及び事業税	269	706
法人税等調整額	197	△158
法人税等合計	466	547
四半期純利益	250	2,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	231	2,435

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	250	2,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	1,657
繰延ヘッジ損益	△71	△39
退職給付に係る調整額	53	32
持分法適用会社に対する持分相当額	25	20
その他の包括利益合計	79	1,671
四半期包括利益	329	4,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	4,106
非支配株主に係る四半期包括利益	19	44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717	3,027
減価償却費	5,712	5,310
減損損失	116	3
構造改革費用	—	443
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△112	△172
受取利息及び受取配当金	△192	△186
支払利息	168	174
投資有価証券売却損益 (△は益)	△643	—
固定資産処分損益 (△は益)	24	51
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,681	△9,743
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,005	△1,311
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,692	5,505
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37	127
未払金の増減額 (△は減少)	1,467	1,194
その他	△570	91
小計	△1,344	4,531
利息及び配当金の受取額	369	338
利息の支払額	△159	△161
法人税等の支払額	△333	△277
法人税等の還付額	159	261
特別退職金の支払額	△19	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,328	4,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△29	△30
投資有価証券の売却による収入	895	—
固定資産の取得による支出	△4,224	△4,199
固定資産の売却による収入	403	23
その他	△51	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,006	△4,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,830	5,382
長期借入金の返済による支出	△1,635	△1,646
リース債務の返済による支出	△746	△737
配当金の支払額	△755	△500
自己株式の取得による支出	△276	△277
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,411	2,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76	2,612
現金及び現金同等物の期首残高	7,990	6,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,066	9,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	50,305	—	50,305	—	50,305	—	50,305
調理加工食品	63,279	—	63,279	—	63,279	—	63,279
食肉事業	—	57,599	57,599	—	57,599	—	57,599
その他	—	—	—	100	100	—	100
顧客との契約から 生じる収益	113,585	57,599	171,184	100	171,284	—	171,284
外部顧客への売上高	113,585	57,599	171,184	100	171,284	—	171,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	656	656	△656	—
計	113,585	57,599	171,184	756	171,941	△656	171,284
セグメント利益又は 損失(△)	△482	363	△119	40	△78	—	△78

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第3四半期連結累計期間において、各セグメントに帰属しない賃貸等不動産及び美術品について、回収可能価額の低下に伴う減損損失116百万円を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	50,842	—	50,842	—	50,842	—	50,842
調理加工食品	66,549	—	66,549	—	66,549	—	66,549
食肉事業	—	58,420	58,420	—	58,420	—	58,420
その他	—	—	—	96	96	—	96
顧客との契約から 生じる収益	117,391	58,420	175,811	96	175,908	—	175,908
外部顧客への売上高	117,391	58,420	175,811	96	175,908	—	175,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	640	640	△640	—
計	117,391	58,420	175,811	737	176,549	△640	175,908
セグメント利益	2,423	755	3,178	39	3,218	—	3,218

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	食肉事業	計				
減損損失(注) 1	331	—	331	—	331	3	335

(注) 1 「加工食品事業」セグメントの331百万円は、「構造改革費用」として計上しております。

2 各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失3百万円を計上しております。